

2023' みちのくスピードスケート競技会
競技会当日の救急体制について（案）

青森県スケート連盟

- 1 救護スタッフの構成 ドクター及び救護係
- 2 救護スタッフ待機場所
○ドクター ※青色のビブス着用
 ホームストレート側リンクサイド中央付近の「メディカルエリア」 ※無線配置
○救急係
 中地中央付近
- 3 設置場所
 バックボード：中地中央付近、
 第1カーブ・第2カーブ外側リンクサイド中央付近
 ストレッチャー：ホームストレート側リンクサイド 中央付近の「メディカルエリア」
- 4 事故（転倒等）発生時の手順
 (1) I次救急
 *レフェリー団（最寄りのレフェリー又はアシスタントレフェリー）の判断により、
 救護の必要性を判断
 ア) 不要の場合（すぐに立ち上がり動いた、出血が認められない等）
 ⇒ 氷の状態を確認後、レース・練習等継続のアナウンスの指示
 イ) 必要な場合（動けない、出血等を認めた場合）
 ⇒ II次救急へ 無線により、ドクターに出動を要請
 レース・練習等を中断（アナウンスの指示）、
 (2) II次救急
 ①救護スタッフ（ドクター・救護係）が現場へ
 ※バックボード用意：中地待機の救急係
 ストレッチャー用意：ラップスコアラー ※リンクサイドを移動
 ②ドクターが救急搬送の必要の有無を判断
 ア) 無し 応急処置（ドクター対応）
 イ) 有り 応急処置（ドクター対応）及び救急搬送の依頼（事務局対応）⇒III次救急へ
 ※バックボードに乗せ、最寄りのコーナーマット越しにリンク外への搬出
 ○リンク内担当（3～4名）：救護係、コーナージャッジ
 ○ストレッチャーにより医務室に移動 ⇒ リンク外担当（3～4名）：総務係
 ※ドクターは医務室にて応急処置
 ※リンク外の救護係は、医務室へ移動完了後、メディカルエリアに戻ってリンクサイド
 で待機し、次のレース再開に備える。
 ※レフェリーは、レース再開の判断をして、アナウンスの指示。
 (3) III次救急
 救急隊到着後、救急隊員への症状等の説明（ドクター対応）
 *救急搬送の際は、各チームのスタッフが付き添いする

裏面あります

5 その他

- (1) 救急用品は、主催者が用意する。
- (2) 救護ドクターは、大会中の選手の自己申告による外傷等にも対応する。

6 ドクター配置表

月日	曜日	従事時間	担当者ドクター
9月23日	土	7:45～15:00（競技終了）※予定	前田周吾先生（青森労災病院）
9月24日	日	7:45～14:30（競技終了）※予定	和田誠之先生 （和田整形外科クリニック）

八戸市の救急体制について

- 1 休日や夜間での軽い体調不良の場合、以下のところで診療を受けることができます。

八戸市休日夜間急病診療所

場所 八戸市田向三丁目 6-1 八戸市総合保健センター1 階

電話 0178-20-7651

診察時間 平日(月～土) 19時～23時

日曜・祝日 12時～23時（12月31日～1月3日を含む）

診察科目 内科・小児科・外科系

【発熱等の風邪症状で受診される方へのお願い】

- ・必ず受診前に電話連絡（0178-20-7651）をお願いします。
- ・できるだけ自家用車でお越しください。（車でお待ちいただく場合があります）
- ・診療の呼び出し等を電話で行う場合がありますので、携帯電話がある方はお持ちください、

- 2 本日の受付時間から医療機関や薬局を検索することができます。

あおもり医療情報ネットワーク (<https://www.qq.pref.aomori.jp/>)

携帯電話から モバイルはちのへ

(<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/section/m/zaitaku/>)



3 在宅当番医

在宅当番医制度は令和5年3月をもって終了となり、休祝日に受診できる医療機関は八戸市休日夜間急病診療所（八戸市総合保健センター1階）に集約されます。